

●平成17年(2005) 郵政民営化

平成17年1月1日、十和田市と十和田湖町が合併し、新「十和田市」が誕生

馬事公苑グランドオープン

●平成18年(2006) 第1回WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)日本優勝

宇樽部バイパス(宇樽部~休屋間) 開通

●平成19年(2007) 消えた年金記録問題 市民憲章と市の木「もみじ」、市の花「さくら」を制定

●平成20年(2008) 後期高齢者医療制度開始 現代美術館オープン

映画「三本木農業高等学校、馬術部」公開 137年ぶりに十和田湖における県境画定

●平成21年(2009) 裁判員制度スタート

小山田市長就任(現在3期目) 高森山多目的グラウンドオープン セーフコミュニティ認証取得(全国で2番目)

●平成22年(2010) 日本年金機構発足

「官庁街通り野外芸術文化ゾーン」グランドオープン 東北新幹線全線開業、七戸十和田駅開業

●平成23年(2011) テレビ放送が地デジに移行

東日本大震災(十和田市は震度5弱) 観光物産センター(Art Station Towada) オープン

●平成24年(2012) 東京スカイツリー完成

十和田観光電鉄線鉄道運行終了 上十三・十和田湖広域定住自立圏形成協定調印

●平成25年(2013) 2020年五輪、東京開催決定 十和田奥入瀬芸術祭開幕

●平成26年(2014) 消費税8%に

十和田湖観光交流センター「ぷらっと」オープン

●平成27年(2015) マイナンバー制度スタート

教育プラザグランドオープン 『第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリin十和田』開催

●平成28年(2016) 北海道新幹線開業

十和田八幡平国立公園が環境省の「国立公園満喫プロジェクト」に選定

●平成29年(2017) プレミアムフライデー実施

「あおり10市大祭典in十和田」開催 菅原都々子さんが第1号市民特別栄誉賞受賞

●平成30年(2018) 北海道胆振東部地震

高橋弘希さんが第1号市民栄誉賞受賞

2019年5月1日 元号が「平成」から「新たな元号」へ

5月1日(水)は新元号スタートの日で「大安」でもあるため、婚姻届が多く提出されることが予想されることから、市では日直(職員)を増やして対応します。 問市民課 ☎6756

広報とわだ(創刊号)

(平成17年1月12日号)

新「十和田市」が県内の新設合併第1号として誕生。この号では、新「十和田市」誕生を迎えるの渡部市長職務執行者のあいさつや市役所で行われた閉庁式や開庁式の様子を紹介しました。



広報とわだ(第90号)

(平成22年4月1日号)



「官庁街通り野外芸術文化ゾーン」が平成22年4月24日にグランドオープンしました。

広報とわだ(第102号)

(平成23年4月1日号)



平成23年3月11日、三陸沖で大地震が発生しました。本市は震度5弱を観測し、市内全域が停電に見舞われたほか、沢沢・片貝沢、百目木地区の79世帯が断水の被害に遭いました。

広報とわだ(第145号)

(平成27年11月号)



平成27年10月3、4日に開催された『第10回ご当地グルメでまちおこしの祭典! B-1グランプリin十和田』の特集を掲載しました。

イベント会場には、33万4千人が訪れ、たくさんのボランティアがおもてなしを行い、十和田市民の心の温かさと結束力を全国に発信しました。

今回の記事には、各町内会長や広報配布協力員の皆さんからいただいた意見を反映しています。各町内会長や広報配布協力員の皆さん、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

広報紙で振り返る 十和田市 平成の歩み



新しい元号になるまであとひと月となり、4月には「平成」が幕を閉じます。約30年にわたる平成という時代は、皆さんにとって、どのような時代でしたか。今月号では、平成という時代に市ではどのような出来事があったのか、広報紙で振り返りながら、ご紹介します。合併前の「広報とわだ」「広報とわだこ」も掲載しましたので、懐かしみながらご覧ください。

また、過去に発行した広報紙は市民図書館で閲覧することができます。

問総務課広報男女参画係 ☎6702

本市の主な出来事

※黒字は日本の主な出来事

1989年1月8日

元号が「昭和」から「平成」へ

- 平成元年(1989) 消費税3%導入 岩手県花巻市と「新渡戸友好都市」締結
- 平成2年(1990) スーパーファミコン発売 「法量のイチョウ」新・日本名木百選受賞
- 平成3年(1991) 雲仙・普賢岳大噴火発生 十和田市保健センター完成 奥入瀬渓流館オープン
- 平成4年(1992) 育児休業法施行 十和田地区消防事務組合新庁舎完成
- 平成5年(1993) 皇太子さま、雅子さま結婚の儀 官庁街通り完成(平成元年着工)
- 平成6年(1994) 三陸はるか沖地震 総合体育センター完成 奥入瀬湧水館完成
- 平成7年(1995) 阪神・淡路大震災 道の駅「奥入瀬」オープン
- 平成8年(1996) 初の小選挙区比例代表並立制の衆院選実施

- 平成9年(1997) 消費税5%に 農村集落多目的施設「おらんどーむ」完成
- 平成10年(1998) 長野五輪開催 十和田市庁舎増築、改修工事完成
- 平成11年(1999) 西暦2000年問題 十和田松木屋閉鎖
- 平成12年(2000) 二千万札発行 ふるさと皆館(現西コミュニティセンター)完成
- 平成13年(2001) 愛子さま誕生 十和田亀屋閉鎖 道の駅とわだ「とわだびあ」完成
- 平成14年(2002) サッカーW杯日韓大会開催 農村交流施設「沢田悠学館」完成
- 平成15年(2003) 住基ネットの本格稼働 「十和田市・十和田湖町任意合併協議会」設置
- 平成16年(2004) 千円札(野口英世)、五千円札(樋口一葉)発行 十和田市・十和田湖町合併協定調印式 市制施行(旧十和田市)50周年、町制施行(旧十和田湖町)50周年

広報とわだ(第801号)

(平成6年4月1日号)



屋内競技の拠点となる総合体育センターが平成6年3月10日に完成。この号では、当時県内一の規模を誇った総合体育センターの全貌(施設内容)について紹介しました。

【この他には】

ふるさとの民具「カンジキ」や「タケスキー」、伝統芸能「滝沢南部駒踊」などについて紹介しました。

広報とわだこ(第388号)

(平成8年5月号)



若者の定住と町活性化の拠点として奥入瀬ろまんパークに「ステーキ&バーベキュー味蕾館」が平成8年4月20日に完成。この号では、施設概要や特産の十和田湖和牛について紹介しました。

広報とわだ(第1055号)

(平成16年12月1日号)



合併を前に、新十和田市として新たな門出を迎えるにあたって当時の中野渡市長の思いや「広報とわだ」50年の歩みを紹介しました。



合併協定調印式の様子